

地域女性活躍推進連携事業【宮城県】

地域の実情と課題

- ①女性の活躍推進に積極的に取り組む企業が県全体に広まっていない。
- ②育児・介護休業制度の理解不足が休業の利用を妨げる一因となっている。
- ③性別による固定的な観念が存在している。(ワーク・ライフ・バランスの推進)

事業の特徴

- 「みやぎの女性活躍促進連携会議」運営・自主事業
- 「みやぎの女性活躍促進サポーター」養成・拠点支援事業
(みやぎの女性活躍促進サポーター養成事業, みやぎの女性活躍促進拠点支援事業)
- 「女性の活躍促進に向けた取組宣言の実施」
- 「女性人材リスト」の作成

事業の効果

- 「みやぎの女性活躍促進連携会議」において、十分な協議及び情報交換ができた(書面会議)。またコロナ禍においてではあるが、関係団体と連携の上、初めてオンラインにより主催事業を実施し、今後の取り組みの可能性が広がった。
- 「みやぎの女性活躍促進サポーター」養成事業を、事業規模を検討の上、感染症対策を踏まえて実施し、普及啓発を図ることができた。
- 宮城県独自の認証制である、「女性のチカラを活かす企業認証制」の認証企業を対象としたセミナーを宮城労働局等の協力を得て、感染症対策を踏まえて行い、改正女性活躍推進法やパワハラ等の理解促進を図ることができた。

目的・目標

女性の活躍による地域経済の活性化や多様な地域課題の解決に期待が高まっている中、経済団体や各主団体との連携のもと、県内のあらゆる地域で女性が活躍しやすい環境の整備を推進する。

連携団体

「みやぎの女性活躍促進連携会議」<構成団体(五十音順)>
一般社団法人宮城県経営者協会, 公益財団法人せんだい男女共同参画財団, 宮城県町村会, 仙台経済同友会, 仙台市, 特定非営利活動法人イコールネット仙台, 日本労働組合総連合会宮城県連合会, 宮城県漁業協同組合, 宮城県商工会議所連合会, 宮城県商工会連合会, 宮城県中小企業家同友会, 宮城県中小企業団体中央会, 宮城県農業協同組合中央会, 宮城県, 宮城労働局

今後の課題

- 「みやぎの女性活躍促進連携会議」の運営の他、他団体との連携など会議の活動に広がりを持つことができた。今後も、色々な単体等と連携・協力して女性活躍推進に向け、活動を大きく広げていきたい。
- 都市部以外での女性活躍推進の気運を盛り上げるため、県として都市部以外での事業実施を、更に推進していきたい。
- 各地域に根差して活動しているNPO同士の親睦・連携。県とそれらNPOとの連携の強化。

女性活躍促進の普及啓発・意識改革

「みやぎの女性活躍促進サポーター」養成事業

宮城県内のあらゆる地域で、女性が活躍しやすい環境の整備を推進することを目的に「みやぎの女性活躍促進サポーター」養成研修会を石巻市で開催。

講演会やワークショップを通じ、「女性活躍促進」について正しく理解し、働き方などの意識を変えていただくきっかけづくりを行った。



各地域での女性活躍促進

みやぎの女性活躍促進連携拠点連絡会議

平成29年度から令和元年度まで実施した「みやぎの女性活躍促進拠点モデル事業」により掘り起こした、県内6地域の拠点等(以下、拠点)について、次年度からの本格的な連携に向けて、活発な意見交換により意見集約と理解の共有を図った。

みやぎの女性活躍促進連携会議」運営・自主事業

知事表彰に併せて例年行っていたシンポジウムは、新型コロナウイルス感染症の拡大影響により中止となったが、代わりに、宮城県独自の企業認証制度の認証を受けている企業を対象としたセミナーを、宮城労働局等の協力を得て、感染症対策を踏まえて実施したもの。

改正女性活躍推進法やハラスメント等をテーマとしたところ、企業の関心は高く、予定を超える企業からの応募があり、大変好評であった。



官民連携の推進体制

みやぎの女性活躍促進連携会議